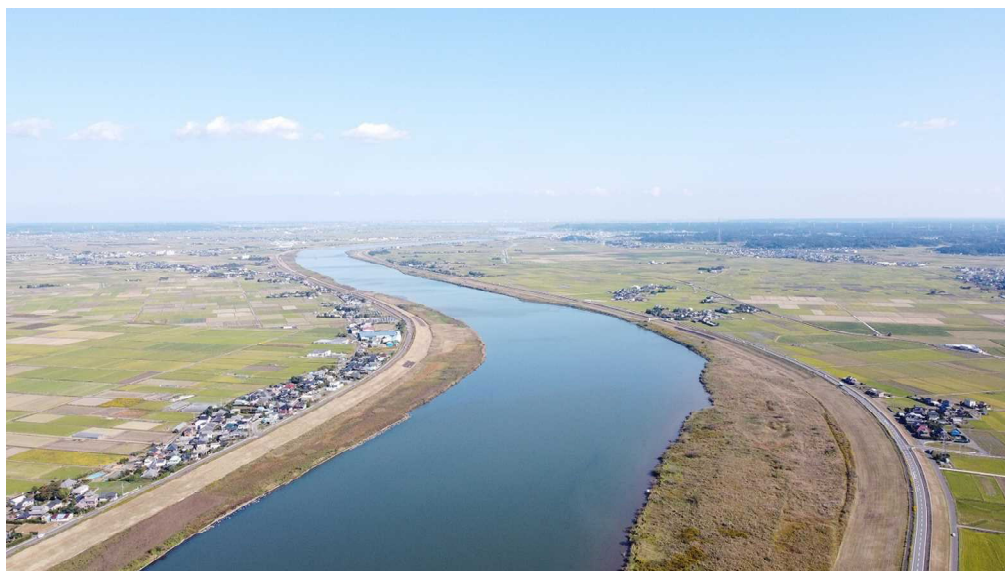


コース1 坂東太郎のみち (11.3 km)

担当者よりひとこと

一級河川利根川沿いをのんびり歩くルートです。天気が良ければ筑波山だけでなく、日光の男体山まで見られることも。大河川の雄大な流れとともに心行くまでウォーキングをお楽しみいただけます。

写真：利根川 (空撮)



コース2 自然と歴史をたどるみち (11.4 km)



担当者よりひとこと

千葉県全29コースのうち、おそらく一番多くの寺社仏閣を訪ねるみちです。道中は比較的高低差もなく、道端に咲く野の花を眺めながら、ゆっくりのんびり歩くのがおすすめです。

写真：龍正院

コース3 古墳をたずねるみち (15.2 km)

担当者よりひとこと

写真の坂田ヶ池周辺は、総合公園として整備されており、池の周りの遊歩道を散策することができます。コース名の古墳(群)は、隣接する房総のむらで見られます。本コースは距離が長いので時間配分には注意です。

写真：坂田ヶ池



コース7 伊藤佐千夫のみち (15.6 km)



担当者よりひとこと

成東町（現山武市）出身で、明治期の歌人、伊藤佐千夫の生家を訪ねるコース。

食中植物園では、貴重な食虫植物をボランティアの方々が案内してくれます。

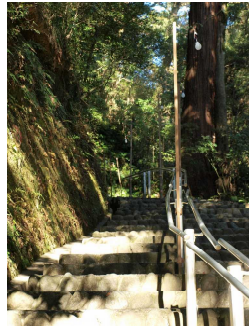
写真：成東・東金食虫植物園（空撮）

コース12 観音様のみち (11.3 km)

担当者よりひとこと

国の重要文化財、笠森寺を訪ねます。岩の上に組まれた柱は圧巻です。ユートピア笠森の展望台は施設閉鎖により登れませんが、隣接する野見金公園の展望台にはカフェもオープンしており、眺望も最高です。

写真：笠森寺



コース13 先住民のあるいたみち (9.5 km)



担当者よりひとこと

住宅街の中心にそびえる古墳（油殿古墳群）は圧巻です。古墳に登ることもできます。

道中には能満寺古墳もあり、悠久の時代を感じられるコースです。

写真：油殿古墳群（空撮）

コース15 九十九里の砂を踏みしめて歩くみち (11.9 km)

担当者よりひとこと

コース名とは裏腹に、コースの半分は海蝕崖の海岸です。そんな崖地にそびえるのが大東埼灯台です。灯台からは、永遠と続く九十九里の砂浜を眺めることができます。

写真：大東埼灯台
(空撮)



コース17 御宿海岸を歩くみち (10.1 km)

担当者よりひとこと

白い崖、エメラルド色の海。実はこの釣師海岸、担当が一番お気に入りの風景。こんな絶景が千葉県にあるなど、関東ふれあいの道を担当するまで知りませんでした。そんな出会いがあるのも関東ふれあいの道の醍醐味です。

写真：釣師海岸 (空撮)



コース18 荒磯のみち (8.4 km)

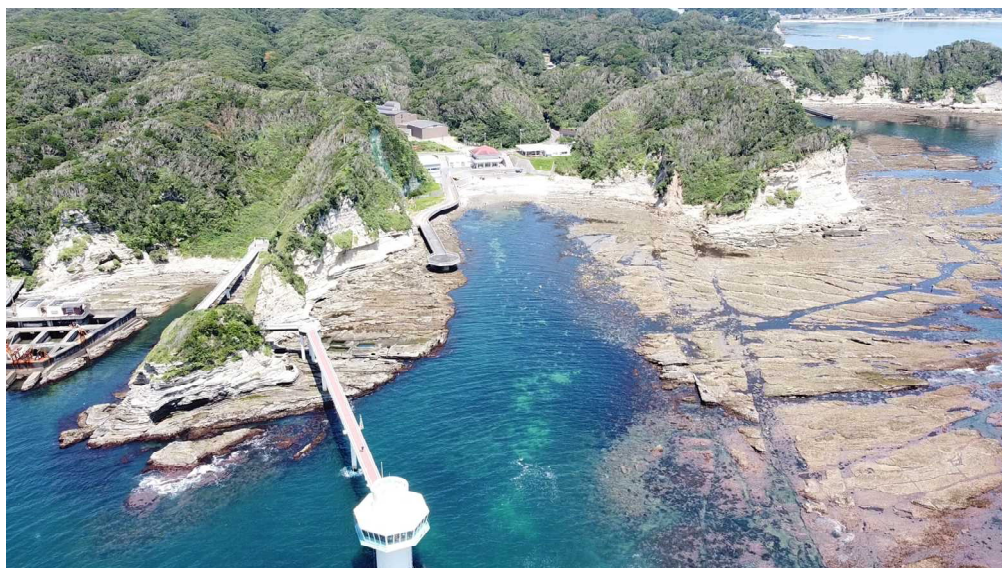
担当者よりひとこと

1917年より100年以上勝浦沖の安全を担い続けてきた勝浦灯台の傍を歩くルートです。コース名のとおり、入り組んだ地形が見事です。

写真：勝浦灯台 (空撮)



コース19 理想郷をたずねるみち (3.2 km)



担当者よりひとこと

千葉県29コースの中で一番距離の短いルートです。勝浦海中公園では海中展望塔(有料)や海の博物館(有料)で海について学ぶこともできます。磯遊びにも最適な場所です。

写真：勝浦海中公園
(空撮)

コース24 ニホンザルと出会うみち (9.0 km)

担当者よりひとこと

コース名のニホンザルは実はほかのコースの方が出会えたりします。このコースのハイライトはやはり高岩観音です。突如崖地に現れる社には誰もが驚きます。

写真：高岩観音 (空撮)



コース26 東京湾を望むみち (8.4 km)



担当者よりひとこと

このコースは鋸山登山を兼ねたコースです。鋸山は、昭和の終わりまで房州石の石切りで栄え、その石切場跡が垂直にそびえ立つさまは、まるで宮崎アニメの世界に入ってきたようともいわれます。

写真：鋸山 (空撮)